## トーヨータイヤ

### 安全確保＆コスト低減

TOYO TIRE（トーヨータイヤ）は22日、トラックなどの個別運行状況に応じて、装着されているタイヤの状態変化や走行環境情報を自動的に収集・蓄積するシステムを開発した、と発表した。このシステムで収集したデータに、個々のタイヤの既定情報や天候データなどの外部情報を加え、AI（人工知能）を活用してタイヤの使用（摩耗）状態を推定するモデルも構築。今後、サービスとして提供できる仕組みをつくっていく。（高橋朋宏）

情報を自動的に収集するシステムは、ホイールに装着したセンサーで空気圧や内部温度などタイヤの状態をデータで自動収集。GPS（全地球測位システム）で得られる位置情報や車両の加速度情報など併せ、リアルタイムでクラウドに蓄積する。日本タタ・コンサルタンシー・サービシズ（垣原弘道社長、東京都港区）との協業で開発した。

使用状態推定モデルはSAS Institute Japan（堀田徹哉社長、同）とともに構築。蓄積されたデータを基に、天候データなど外部情報も統合してAIが解析し、高い精度でタイヤの使用状態を確定・把握する。

同社は「運送事業者は1理、メンテナンスしていくことができる推定モデルを構築した。運輸事業向けのビジネスモデルとしてタイヤメーカーならではのメンテナンス・サポートの確立を進めていく」とPR。

さまのニーズに合ったタイヤの提案など、安全管理やコスト低減といった課題解決にもつなげていくことができると考えている」としている。

### 小型トラック用スタッドレス
### アイス・耐摩耗性能を両立

TOYO TIRE（トーヨータイヤ）は、アイスと耐摩耗性能を高次元で両立した小型トラック用スタッドレスタイヤ「デルベックス エムキュウサンゴ」を8月1日から発売する。

刻々と変化する冬の路面での小型トラックの使用環

[illegible]

この結果、耐摩耗性を確保するとともに、アイス路面での発進時などにおけるトラクション指数が空車状態相当時で14％増加。雪道で積載状態が変化しても安定した走行ができる。

[illegible]とで発進と停止が繰り返されるため、トラクション性能とブレーキング性能、更に発進と停止の際にかかる大きな負荷に対する耐摩耗性が求められる」としている。

発売するのは全14サイズで、いずれもオープン価格。（根来冬太）

DELVEX M935

冬の路面での小型トラックの使用環境を考慮し開発

---

# 千葉＆埼玉で倉庫賃貸

## 計3万4500平方㍍

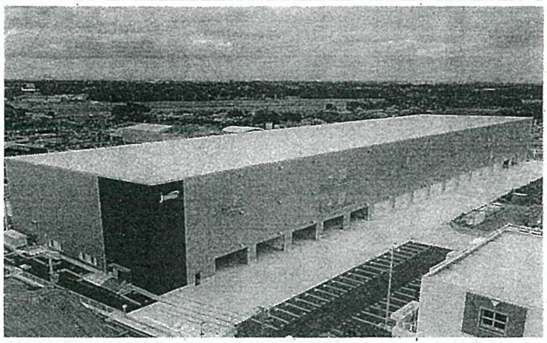
### ディールエージェント

物流不動産の仲介事業を展開するディールエージェント（桐西一太社長、東京都千代田区）は27日、千葉と埼玉に立地する二つの倉庫をマスターリース契約したほか、埼玉では倉庫1棟を購入した、と発表した。サブリース（転貸）事業を強化することにより、貸し手と借り手の間を取り持つサービスを拡充。紹介物件の選択肢を増やすとともに、安定収益源の確保を図る。

白井物流センター（千葉県白井市）はマルチテナント（複数企業入居）型の物流施設で、敷地面積が1万4300平方㍍、延べ床面積は2万5600平方㍍。千葉県の北西部に位置する白井市は東京の都心部から30㌔圏内にあり、首都圏全域への広域配送拠点としての需要も期待できることから、一括で賃貸借するマスターリース契約を結んだ。

交通アクセスは常磐自動車道の柏インターチェンジ（IC）から15㌔、東関東自動車道の千葉北ICからは20㌔。

また、北総線の白井駅から5・6㌔、東武野田線の高柳駅からは6・2㌔に位置しており、9月の引き渡しを予定している。



マルチテナント型の白井物流センター

所沢物流センター（埼玉県所沢市）は物流事業者の営業所をマスターリース契約した。敷地面積が5600平方㍍、延べ床面積は7900平方㍍で、11月の引き渡しを予定。関越自動車道の所沢ICから3㌔、JR武蔵野線の東所沢駅からは2・4㌔に位置するのに加え、倉庫の利便性の高さも評価して契約を決めたという。

更に、物件の南側には990平方㍍の敷地があり、乗用車及びトラックの駐車スペースとしての賃借も相談可能としている。

三郷高洲倉庫（三郷市）は6月末に取得した。敷地面積が1千平方㍍、低床の2階建てで、延べ床面積は1040平方㍍。東京外環自動車道の三郷南ICから1・3㌔、JR常磐線の金町駅からは2・8㌔に位置するほか、大型車も進入できるので営業所や配送拠点に最適という。内外装のリニューアル工事中で、10月の引き渡しを予定する。

なお、3物件ともに入居テナントを募集中で、内覧は随時可能としている。

同社は物流施設に特化した仲介を主力事業にしているが、3年ほど前からサブリース事業にも力を入れており、今回の2案件を含めて15棟（8万2500平方㍍）のサブリース物件を運営。今後も「物件の目利き力」を強みにサブリースを仲介と並ぶ主力事業と位置付けていくのと併せ、倉庫の取得や開発事業も積極的

---

### あいおいニッセイなど

# 処方薬をドロー

## 香川・粟島

あいおいニッセイ同和損害保険（金杉恭三社長、東京都渋谷区）と香川大学、かもめや（小野正人社長、高松市）は21日、香川県三豊市の須田港と粟島の間で、自動飛行するドローン（小型無人機）を使って遠

---

## 荷主企業の挑戦

物流代行事業などを手掛けるスクロール360（山崎正之社長、浜松市中区）は5月から、スクロールロジスティクスセンターみらい（茨城県つくばみらい市）を稼働させている。今後の成長ドライバーと位置付けるソリューション事業を高度化し、ミッションに掲げる「次世代CRM（顧客情報管理）物流」を体現。顧客の通販事業を360度（全方位）から支援していく上で、新センターが担う役割を鈴木康晴取締役営業部長（50）に聞いた。（沢田顕嗣）

### スクロール360

# 通販事業、全方位から支援

「EC事業者と購入者の架け橋になりたい」と鈴木取締役営業部長

くの問い合わせが寄せられている。バーチャル見学ができるので、気軽に利用してもらいたい。

――自動化と並行して手作業も生かす。

は温かみがあり、同じクライアントでも自動化と手作業の両方のニーズがある。

――物流の枠を超越したサービスを提供する。

化粧品・医薬部外品製造加工許可と高度医療機器・管理医療機器販売業許可を取得している。オンデマンドプリンター（バリアブル印刷機）の導入など、デジタルとの融合も推進していく。更に、1年後をメドに、EC業務（受注処理）の開[illegible]た。誤出荷率は0・0001%から0・0005%を誇るが、ロジに限定せずに前後の業務もワンストップで請け負う。

バリアブル印刷、ノベルティーの封入、同梱物の細かなセッティングなどに加え、データベースマーケティングサービスを提供することで、マーケティングオペレーションと物流をつなげたい。グループ企業も含めた様々な業務を統合し、[illegible]求められる物の受け取り方に関しては、今後もニーズが変化すると考えており、求められるラストワンマイルを様々なパートナー企業と模索していく。

新センターについては九州地区が気になっているが、拠点の開設は現時点では決めていない。3温度帯は施設を借りているが、ニ[illegible]